心に残る文化財子ども塾　浜田市立弥栄小学校

1. 活動の概要

6月 27 日(木)、浜田市立弥栄小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに、県埋蔵文化財調査センターの職員から、弥栄町にある遺跡の紹介とその特徴などについて説明を受けました。児童は、町内の要所には中世の山城がとても多いこと、またその周辺部には中世～近世にかけての製鉄遺跡も多く分布していることなどを聞き、とても驚いた様子でした。特に地元にも三隅氏・永安氏・吉川氏・小松原氏などの武士がいて勢力争いをしていたことなどに触れるととても興味を持った様子で聞き入っていました。

次に、古代の玉についての説明を受けました。他の石器と用途や石材が違うこと、特定の人物が身に着けていたことなどを実物や人物埴輪にみられる装いをとおして学習しました。古代の玉作り技術と体験での勾玉の作り方について説明を聞いたのち、滑石を使って体験活動を行いました。手が疲れたり、思うような形にならず悪戦苦闘しながらも、最後には全員完成し、古代衣装に身を包み記念撮影を行うことができました。

2. 活動の様子

むかしの道具とういうのは・・

メノウはもっと硬くて大変だったんだ！

貫頭衣を着て、古代人になって、全員完成！！　みんながんばりました。

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- 勾玉を削ったり磨いたりするところが楽しかったです。もう一度勾玉作りをしてみたいです。
- 勾玉についてもっと知りたいと思いました。ほかの国の玉について知りたいと思いました。
- 勾玉以外の玉作りに挑戦してみたいです。水晶など他の石材で玉作りをしてみたいです。
- 他の古代人のものづくりを体験してみたいです。黒曜石を使って道具を作ってみたいです。
- 弥栄の歴史を知ることができました。
- いろいろな遺跡を見てみたいです。

2)担任の先生から…

- 専門的なことを教わり、子ども達の歴史学習への意欲が高まりました。
- ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ等で視覚に訴える支援があり興味･関心が高まったようです。

3)埋文センターから

自分たちの町にも遺跡はたくさんあることを知った児童たちが驚いていたのが印象的です。教科書には書かれていない身近なところにも歴史が刻まれていることを感じたのではないでしょうか。遺跡や出土品など、地域に残された貴重な遺産がほんの少しでも歴史学習に活用されると、子どもたちの関心や意欲も高まるのだとあらためて感じることができました。

玉作り体験は限られた時間内での作業であったため児童によって完成度はまちまちでしたが、得られたものは出来栄え以上だったのではないでしょうか。お寄せいただいたアンケートでは、作ることの難しさをだけでなく、もう一度やってみたい、ほかの石で作ってみたい、別の体験をしてみたいなど、「知ること」への欲求が多くみられました。一方、古代の技術や知恵がどれほど伝えられたのか反省するところもあります。

単なる工作で終わるのではなく、次へとつながっていくような子ども塾にしていきたいと思います。